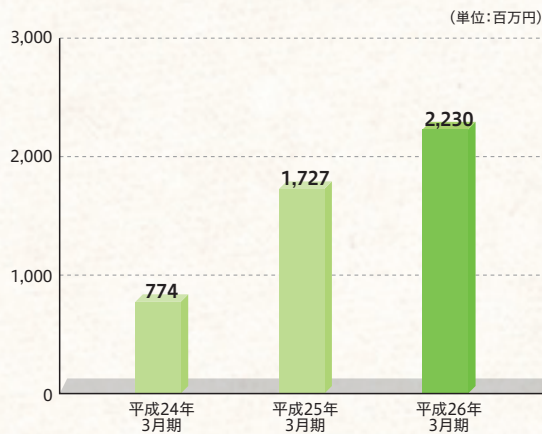


業績ハイライト(単体)

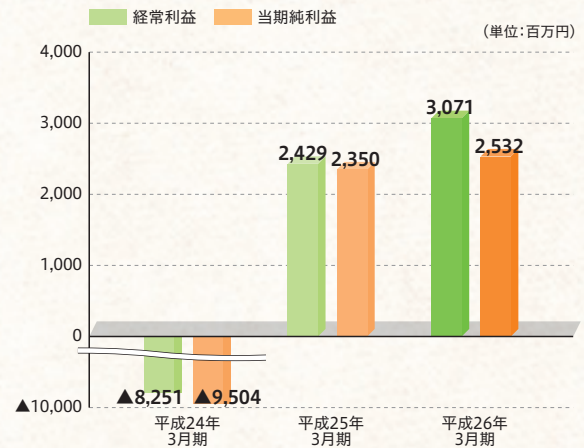
コア業務純益の状況

銀行の本業の収益力を表すコア業務純益は、平成25年5月のシステム移行に伴い物件費が増加した一方で、資金利益及び役務取引等利益が増加したことなどから、前年同期比5億3百万円増加の22億30百万円となりました。



経常利益・当期純利益の状況

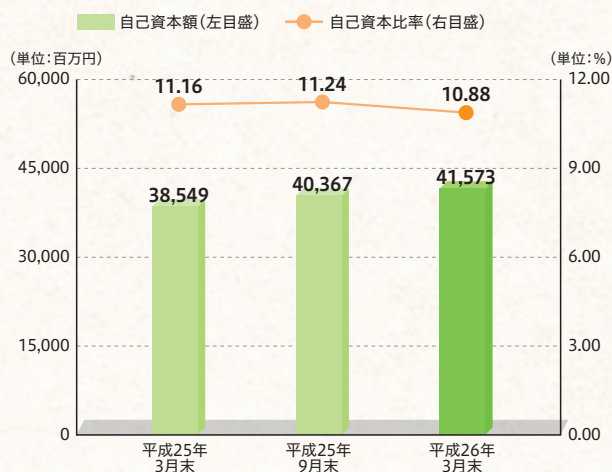
経常利益は、前年同期比6億41百万円増加の30億71百万円、当期純利益は、前年同期比1億82百万円増加の25億32百万円となりました。



自己資本比率の状況

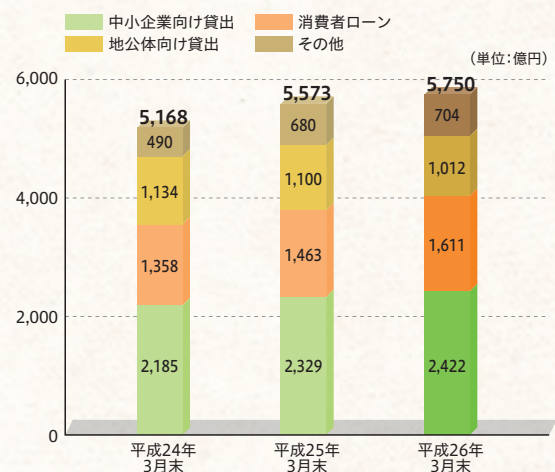
単体自己資本比率は、10.88%となりました。

※平成26年3月末より、改正後の自己資本比率規制(バーゼルⅢ)が国内基準行に適用されたことにより、従来の自己資本比率との算出方法が異なっております。



貸出金の状況

貸出金残高は、震災復旧・復興に係る様々な資金需要への対応により、中小企業向け貸出や住宅ローン貸出が増加したことなどから、平成25年3月末比177億60百万円増加の5,750億87百万円となりました。

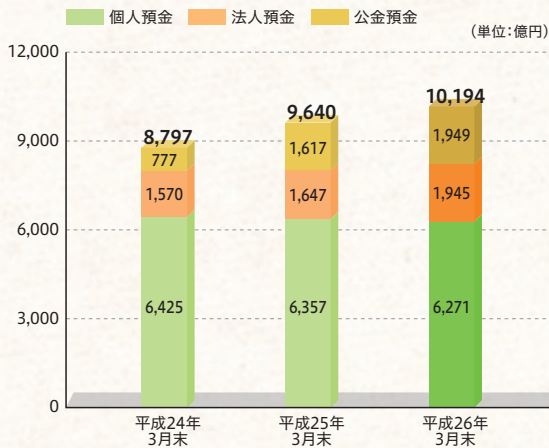


用語解説

■ **コア業務純益** 「業務純益」から「一般貸倒引当金繰入額」と「国債等債券損益」を除いたものです。分かりやすく言えば、資金運用収益と調達費用の差額である資金運用収支益と、送金手数料等の手数料収支から、営業経費を引いた、いわゆる銀行本業部分の収支益のことを指します。

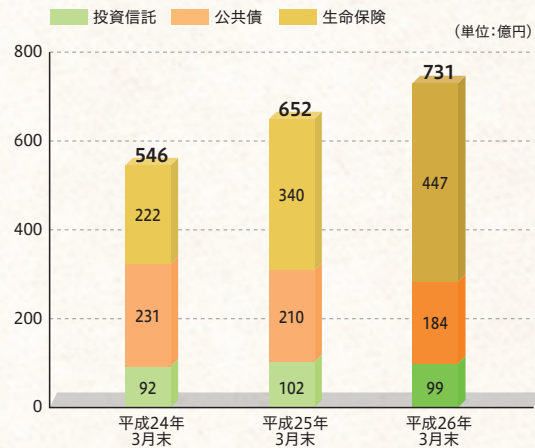
預金(譲渡性預金を含む)の状況

預金残高は、システム移行に伴う一部預金科目の移動により個人預金が減少したものの、法人預金や公金預金が増加したことなどから、平成25年3月末比554億26百万円増加の1兆194億38百万円となりました。



預かり資産の状況

預かり資産残高は、営業店と資産運用サポートチームの販売強化により生命保険残高が増加したことなどから、平成25年3月末比78億45百万円増加の731億32百万円となりました。

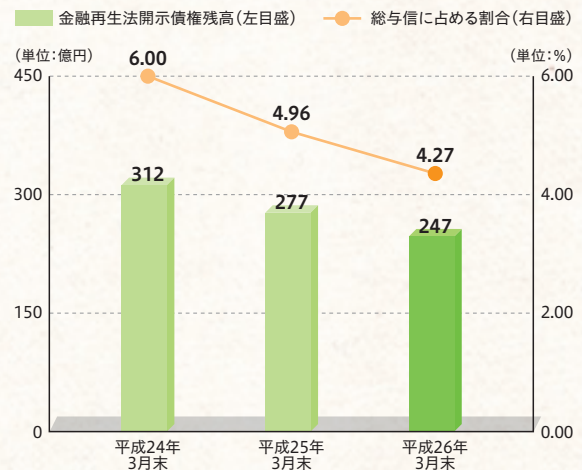


金融再生法開示債権の状況

金融再生法に基づく開示債権の残高は、一部の被災企業の業況好転や約定返済などから、平成25年3月末比30億33百万円減少の247億66百万円となりました。

総与信額に占める割合は、平成25年3月末比0.69ポイント低下の4.27%となりました。

金融再生法開示債権残高および総与信に占める割合



■ 経常利益 「業務純益」から「株式売買損益」や「個別貸倒引当金繰入額」などの臨時損益を加減した利益を指します。

■ 当期純利益 「経常利益」に「特別利益」と「特別損失」、そして法人税等の税金を加減した利益を指します。

※金額は単位未満を切り捨てて表示しております。